

2月の消防広報重点事項

発行 令和8年1月13日
盛岡市危機管理防災課
編集 盛岡中央消防署

令和7年の火災・救急の状況について

1 火災の状況

令和7年中の盛岡市における火災件数は50件で、前年に比べ9件増加しています。

また、火災による死者数は6人で、前年に比べて3人増加しています。

火災原因の上位は、「電灯等の配線」、「こんろ」、「たばこ」及び「電気機器」となっています。

	令和7年	令和6年	比較増減
火災件数	50	41	+9
死者	6	3	+3
負傷者	13	8	+5

令和7年			令和6年		
火災原因		件数	割合(%)	火災原因	
第1位	電灯等の配線	7	14	第1位	放火・放火の疑い
第2位	こんろ	6	12	第2位	電気機器
第3位	たばこ	4	8	第3位	たばこ
第3位	電気機器	4	8	第4位	ストーブ

2 救急の状況

令和7年中の盛岡市における救急出動件数は13,652件で、前年に比べ97件増加しています。

また、救急搬送人員は12,674人で、前年に比べ98人増加しています。

	令和7年	令和6年	比較増減
救急出動件数	13,652	13,555	+97
救急搬送人員	12,674	12,576	+98

3 過去5年間の火災件数及び救急出動件数の推移

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火災件数	49	30	39	41	50
救急出動件数	11,566	12,558	13,328	13,555	13,652

地震火災を防ぐポイント

① 事前の対策

- ・ 住まいの耐震性を確保しましょう。
- ・ 家具等の転倒防止対策（固定）を行いましょう。
- ・ 感震ブレーカーを設置しましょう。
- ・ ストーブ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かないようにしましょう。
- ・ 住宅用消火器等を設置し、使用方法について確認しましょう。
- ・ 住宅用火災警報器を設置しましょう。



② 地震直後の行動

- ・ 停電中は電気器具のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜きましょう。
- ・ 避難するときはブレーカーを落としましょう。
- ・ 石油ストーブや石油ファンヒーターからの油漏れの有無を確認しましょう。

③ 地震発生からしばらくして

- ・ ガス機器、電気器具及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認しましょう。
- ・ 再通電後は、しばらく電気器具に異常がないか、煙や臭いに注意を払いましょう。

④ 日頃からの対策

- ・ 消防団や、自主防災組織等へ参加しましょう。
- ・ 地域の防災訓練へ参加するなどし、発災時の対応要領の習熟を図りましょう。

令和7年12月中の火災4件の内訳

12月8日 乙部13地割 ピアノ教室併用住宅1棟 全焼

12月16日 下厨川 小型貨物自動車1台 焼損

12月22日 門二丁目 専用住宅1棟 全焼

12月31日 厨川五丁目 専用住宅1棟 ぼや